

# 「レトロバス」出発進行!

八戸市の南部バス観光(川村廣美社長)は三日、一九八三年式の「レトロバス」で市内外を巡るツアーを実施した。全国各地からバス愛好者たちが集まり、カメラを片手にノスタルジイの旅を楽しんだ。

南部バス観光が県南ツアー  
全国から愛好家  
「談義」花咲かせ



念願のレトロバスに直面する愛好者ら

## ノスタルジー 浸る旅満喫

今や懐かしの「青」ナンバーを付けるレトロバスは現在、五戸町内でスクールバスとして運行されている。いずれ自動車製作した最後の貸し切りバスで、今や全国にも数台しか残されていないという。

今回のツアーは、愛好者からレトロバス乗車すると今度は、熱

い「バス談義」を披露した。

バスは、七戸町の旧南部縦貫鉄道「レールバス」や南部バス五戸営業所などを巡り、愛好者らの心を満たしていた。

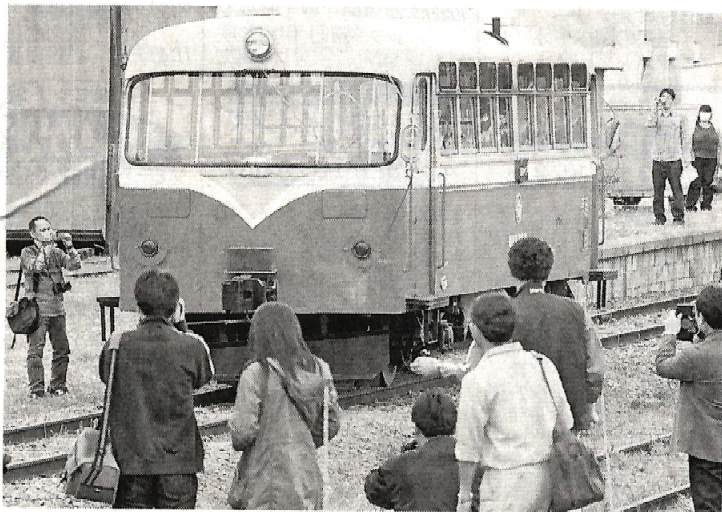
東京から訪れた交通ジャーナリストの鈴木文彦さん(五)は「懐かしい気持ちに浸ることができ、本当に参加して良かった」と顔をほころばせていた。

1983年式「青」ナンバー

旧南部縦貫鉄道七戸駅でイベント

## レールバス変わらぬ人気

きょう、あすは体験乗車



レールバスの撮影を楽しむファンたち

七戸町笹田の旧南部縦貫鉄道七戸駅で三日、ゴールデンウィーク恒例のイベント「レールバスとあそぼう」(南部縦貫レールバス愛好会主催)が始まった。四、五日は体験乗車も行われる。

レールバスはかつて七戸―野辺地間を往來した同鉄道の車両。二〇〇二年に廃止となった。自動車のようにクランチと変速ギアで動き、ピンクとオレンジ色の丸みがある車体の特徴で、今なお多くのファンが愛してやまない。

ほぼ毎年、イベントに訪れているという東京都文京区の三原茂人さん(三)は「昔らしさが残っているのがい」と満ちた。

四、五日は午前十時から午後三時まで体験乗車を実施。駅構内約八百メートルの走行が楽しめる。料金は高校生以上五百円、中学生以下は無料で、何度でも乗車できる。

イベントはレールバスと触れ合える年に一度の機会。三日は車両展示のみだったが、全国各地から多くのファンが詰め掛け、現役時代と変わらぬ姿を熱心に撮影していた。